

高等学校公民科の指導内容一覧

平成27年12月7日
 教育課程部 社会・地理歴史・公民
 ワーキンググループ
 資料11-4

教科目標	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。
------	--

【現代社会】

科目目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
(1) 私たちの生きる社会	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。
(2) 現代社会と人間としての在り方生き方	<p>ア 青年期と自己の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯における青年期の意義、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化、自己形成の課題、現代社会における青年の生き方についての自覚 <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方、民主政治における個人と国家、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理についての自覚 <p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等など、他者と共に生きる倫理についての自覚 <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会の変容、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連、雇用、労働問題、社会保障、個人や企業の経済活動における役割と責任 <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が進化する国際社会における政治や経済の動向、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方
(3) 共に生きる社会を目指して	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。

【倫理】

科目目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
(1) 現代に生きる自己の課題	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。
(2) 人間としての在り方生き方	<p>ア 人間としての自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義など、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題、人間としての在り方生き方についての考えの深まり <p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質、我が国の風土や伝統、外来思想の受容と自己とのかかわり、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方についての自覚
(3) 現代と倫理	<p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福など、倫理的な見方や考え方、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題としての考えの深まり <p>イ 現代の諸課題と倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動、論理的思考力や表現力、現代に生きる人間としての在り方生き方についての自覚

【政治・経済】

科目目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
(1) 現代の政治	<p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構の概観、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治など、民主政治の本質や現代政治の特質、政党政治や選挙など、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方 <p>イ 現代の国際政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、国際政治の特質や国際紛争の諸要因、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割
(2) 現代の経済	<p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義、国民経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働き、現代経済の特質、経済活動の在り方と福祉の向上との関連 <p>イ 国民経済と国際経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割、グローバル化が進む国際経済の特質、国際経済における日本の役割
(3) 現代社会の諸課題	<p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。 <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。